

平成20年度
みやこ町海外ホームステイ事業
報告書



Australia 2008

目次

本研修日程

3

研修の思い出

4~26

アンケート結果

終わりに



本研修日程

日程	場所	コース
8/3 (日)	みやこ町 福岡空港 シンガポール	<ul style="list-style-type: none"> みやこ町から福岡空港国際線ターミナルへ 出国手続き後、シンガポールへ 到着後、乗り継ぎ オーストラリア パースへ パースにて入国手続き後、ホテルへ
8/4 (月)	パース	<ul style="list-style-type: none"> 学校到着（オリエンテーション等） ウェルカムセレモニー 昼食後、ホストファミリーと対面
8/5 (火)	パース	<ul style="list-style-type: none"> ホスト学校へ登校 午前：クロスカントリーの練習後、バディと一緒に授業を受ける 午後：オーストラリアのランチ作り
8/6 (水)	パース	<ul style="list-style-type: none"> ホスト学校へ登校 午前：クロスカントリーの練習後、バディと一緒に授業を受ける 午後：カバシャム野生動物公園
8/7 (木)	パース	<ul style="list-style-type: none"> ホスト学校へ登校 クロスカントリーの練習後、バディと一緒に授業を受ける
8/8 (金)	パース	<ul style="list-style-type: none"> ホスト学校へ登校 午前：クロスカントリーの練習後、バディと一緒に授業を受ける 午後：終了式とお別れパーティ
8/9 (土)	パース シンガポール	<ul style="list-style-type: none"> 午前：ホストファミリーとお別れ フリーマントル見学 出国手続き後、シンガポールへ 到着後、福岡へ
8/10 (日)	福岡空港 みやこ町	<ul style="list-style-type: none"> 福岡到着。入国手続き後、みやこ町へ 着後、解団式

研修の思い出

M. I. 14歳

ホームステイ家族：The Browns

お父さん：Craig お母さん：Tracey

兄弟：Joshua Matthew Chelsea

ペットちゃん：Hershey



ホストファミリーと
ベスト思い出トップ3！

旅行の

よかったこと

英語が少し上手に
なったこと

きつかったこと

機内

食べ物

美味しかったもの

お母さんが作ってくれた
料理、全て
(特にチキンが・・・)

まずかったもの

機内食
サーモン

1. 友達が出来たこと
2. ビーチへ行ったこと
3. チェルシーと遊んだこと

私がお世話になったホストファミリーの方々は、優しく気軽に声をかけてくれ、家に着いてからもとても歓迎してくれました。全員が集まる食事の時には、日本に関する質問や1日の出来事について聞かれました。夜は、トランプや日本から持っていったお土産で会話が弾みました。オーストラリアの人々はとてもフレンドリーなので、親しみが持てました。この事は日本と大きく異なっているなど実感。皆、優しく明るくて、毎日楽しく過ごす事ができました。6日に、カバシャム・ワイルドライフ・パークへ行きました。

日本ではなかなか体験できない、カンガルーやコアラを触る事ができて感激でした。フワフワして気持ち良かったです。また、この日は放課後キングスパークへ連れて行ってくれました。自然が綺麗でウォーキングには最適な場所でした。7日は、放課後、ショッピングに。チェルシー達と写真を撮りながら楽しみました。毎日遊んだり、話したりしているうちに友達も出来て、学校も楽しく過ごせました。会話をしたり、日本語を教えてほしいという友達もいて、楽しかったです。何もかもあっという間に感じました。

お別れの前日は、家族でビーチへ。皆で写真を撮ったりしているうちに、明日でお別れなんだな・・・とあってしまい、なんだか悲しくなりました。お店を見て回ったり、話したり、最後の良い思い出になりました。英会話がきちんと伝わるか少し不安はありましたが、伝わって良かったです。ファミリーに英語が上手くなった、と言われた事は一番嬉しかったです。今回、オーストラリアにホームステイに行って、良かった事は、やはり英語が少し上達した事、自分の

研修の思い出

言っていることが相手に伝わり会話になった事です。

これを期に、英語を生かして自分の将来に役立てたいなあと思いました。

オーストラリアの人々と触れ合い、学んだ様々の事はとても良い経験、思い出になりました。機会があれば、必ず、私を迎え入れてくれたファミリーに再会をしに行きたいと思います。帰りには、お土産や写真を手渡してくれました。短い期間だったけど、本当の家族の様になれて、楽しい時間を過ごせました。ホストファミリーの皆、私の家族、お世話になった役場の方々や日本旅行の方々、学校の皆など・・・ありがとうございました。



キングスパークにて



カバシャム・ワイルドライフ・パーク
にて、お母さん・チェルシーと



お別れの前日、ビーチでチェルシーと

研修の思い出

H. S. 14歳

ホームステイ家族：Chord

お父さん：Joson お母さん：Jogui

兄弟：Eric・Ethan・Lucas



旅行の

よかったこと

学校の友達と
遊んだ

きつかったこと

飛行機の中

食べ物

美味しかったもの

お母さんのヨーグルト
手料理
オレンジジュース

まずかったもの

機内食
ソーセージ

ベスト思い出トップ3！

1. 学校で友達と遊んだこと。
2. 家族で Shopping.。
3. 動物園

最初私は、「ホームステイ」で「オーストラリア」なんかに行きたくないと思いました。

でも、友達から「オーストラリア」の海の写真を見たら、すごくきれいで感動しました。

それで、わたしは「オーストラリア」に行く事に決めました。

一番楽しかった思い出は、学校です。

私は、4年生のクラスに入りました。クラスの扉を開けたとき、中の子供たちの視線が、一気に私と友達に向きました。最初は、とても緊張したけど、となりにいた男の子と話をしていて楽しいなと思ってきました。

次の朝、私は早く学校に行きたくて、たまりませんでした。学校に着くと、女子や男子が私の回りに集まってきて、「昨日はゆっくりねれた？」とか、「寒くない？」とかいろいろ質問をされました。私は、英語はあまりしゃべれなかったけど、聞き取るぐらいは少々できました。

校庭を走る時間になったらいつも一人の女の子がマフラーを首に巻いてくれました。

それがすごく嬉しくて、いつもその時間が来るのがすごく待ちどおしかったです。

それから私は、その子とすごく親しくなり、昼休みも昼食を食べる時もその子と一緒にいました。

研修の思い出

その子の英語は、すごく聞き取りやすく、きれいな発音の英語だったので、一番話しやすかったです。

お別れの日が近づくにつれて、私とクラスみんなは、すごく仲良くなり、みんなは自分から一緒に写真を撮ろうとか、写真を撮ってあげるよとか、ハグをしてくれるようになりました。

別れの日、みんなは、いつも以上に話しかけてくれたり、ハグをしてくれたりしました。

最後にクラス写真を2枚、先生が撮ってもらいました。

私は、4年生のクラスで5日間を過ごして良かったなと思いました。

機会があったらまたオーストラリアに行って友達みんなに会いたいです。



クラスみんなで



大好きな友達と2人で・・・



仲良しの3人と一緒に。

研修の思い出

N. S. 14歳

ホームステイ家族：Owen

お父さん： お母さん：Janie

兄弟：Callum・Alicia・TaylaJay



ホストファミリー

旅行の

よかったこと コアラをさわ れたこと	きつかったこと 毎朝走ったこと
--------------------------	--------------------

食べ物

美味しかったもの サンドウィッチ とか	まずかったもの 特にありません
---------------------------	--------------------

ベスト思い出トップ3！

1. 家族と港にいったこと。
2. 家族とカンガルーを見に行行ったこと
3. 生徒たちが歓迎会とお別れ会をしてくれたこと

私は、オーストラリアに行くととても良かったと思います。

理由は5つあります。

1 つ目は、オーストラリアに行くのにシンガポール空港によった時に色々なお店があって、色々な国の人に会えたことです。

2 つ目は、オーストラリアに着くとパースに住んでいる人たちが私達をむかえてくれたことです。そして、その中にとっても有名人に似ている人が多かった事です。

3 つ目は、オーストラリアの学校で生徒のみんなが私達を歓迎してくれたことです。オーストラリアの生徒はとても優しくてすぐに友達になれました。私は、英語が分からないのでほとんど最初は辞書で調べていたけど友達がゆっくりしゃべってくれたので途中から少しだけ辞書なしで喋ったりしました。

4 つ目は、ホストファミリーに会えた事です。ホストファミリーはとても優しくて最初あった時とてもドキドキしてうまく口を開けることができない私ににっこりと笑いかけてくれたし、私が言いたいことをゆっくりと話すのをきちゃんと聞いてくれたし、ファミリーは5人家族の3人兄弟で、1番上のお兄ちゃんは私と同じ年なのに手がすごくデカくてあまり話さなかったけど、とても気を使ってくれました。12歳と10歳の妹は私のやる事を不思議そうに見ていて、折り紙をしてあげると「私もやりたい」と言ってくれました。

研修の思い出

5つ目は、学校のクラスの子が公園などで会うと絶対に「ハロー」と言ってくれてファミリーには、私と同じクラスだと教えてあげていてとても親切でいつも困った時に見守ってくれていた事です。私が英語が分からないのにみんなたくさん話しかけてくれたり、一緒に遊ぼうと言ってくれる子もいてみんなとても温かかったです。私は日本人1人になるととても心細く寂しかったのにみんなが話しかけてくれてとてもうれしい気持ちになりました。最後に私は言葉も必要だけど一番大切なのは分かり合おうとする事だということ友達やファミリーに教わったと思います。



クラスメートと先生で写真と手紙をくれました。



オーストラリアの生徒達
お別れ会の時。



クラスメートの友達で
とても親切でした。

研修の思い出

S. S. 13歳

ホームステイ家族：Quinn Anderson
お父さん：Stuart お母さん：Kristie
兄弟：Kiara



旅行の

よかったこと

オーストラリアの人とも仲良くできて、ある程度の英語が通じた

きつかったこと

特にはないです。

食べ物

美味しかったもの

サンドイッチ

まずかったもの

機内食

ベスト思い出トップ3！

1. 学校に行ったこと
2. 動物園でコアラにさわられたこと
3. ホストファミリーのともだちの誕生日会に行ったこと

私は、今回が初めてのホームステイでした。もともと、海外に興味を持っていた私は、このホームステイに参加しました。

始めは、あまり英語も通じないし困りました。でも通じた時の喜びが、今でも忘れません。ホストファミリー、学校の生徒や先生などからすると、あまり上手じゃない英語だったと思います。単語と単語の組み合わせ、ちょっとした簡単な英語、それでもホストファミリーなどの方々は、しんげんに話を聞いてくれました。とっても、嬉しかったです。

そこで、私は考えました。将来、英語や外国人との交流のある仕事につきたいです。例えば、通訳や航空会社で働く人です。通訳は、テレビ番組などで外国人が出演した時などに活躍します。航空会社で働く人には、たくさんの種類があると思います。それは、出国、入国などの手続き、つまり受付です。他には、飛行機に乗り込み飛行機の中で仕事をするスチュワーデスもあります。

私は、この将来の夢に向かってがんばって行きたいと思います。

今回の研修で、たくさんの事を学びました。まず、言葉の通じた時の喜びです。お互いに言葉が分からないのに、思いきって、しゃべってみると意外と通じるという事です。

二つ目は、夢に向かってがんばってみようと思いだしたことです。私は、英語がもともと大好きだったから将来、こんな仕事につきたいとは思っていませんでした。でも、もし通じなかったらとか、色々考えていたからです。でも、このホームステイに参加したら、これからもっともっと、英語の勉強をしてがんばってみようという気になりました。

研修の思い出

本当に良い体験が出来ました。

これからも、外国について調べてみたり、もっと英語の勉強をして将来の夢に向かってがんばって行きたいです。

本当に楽しかったです。



研修の思い出

N. T. 14歳

ホームステイ家族： Wood

お父さん： Robert お母さん： Leannaa

兄弟： Courtney and Zoe



My hostfamily

旅行の

よかったこと

家族で、海を見に行き、ごはんを食べたこと

きつかったこと

学校で毎日走るマラソン！！

食べ物

美味しかったもの

お母さん手作りのスパゲティー(ミート)と鳥のステーキ

まずかったもの

シリアル(レインボーのドーナツ形)

ベスト思い出トップ3！

1. 学校で、いろいろ作って食べたこと
2. 学校で、同じクラスの友達とボールのゲームをしたこと
3. 音楽の時間やお別れの時に歌った歌

楽しかったオーストラリア(パース)

私は今回、初めてのホームステイ&外国でした。役場から、家族と分かれてバスに乗って、福岡空港へ。そして、そこから、シンガポールまで行きました。飛行機の中では、オーストラリアについてのことで頭がいっぱいでした。「ちゃんと話ができるかな〜。」とか、「仲良くなれるかな〜。」とか、楽しみだけど不安でした。シンガポールの空港は、すごく大きくて、ビックリしました。そこからオーストラリアのパースまで、また飛行機でした。その日は、飛行機だらけでへとへとでした。ホテルにつくと、事件が発生！！ スーツケースのカギを友達がなくしたのです。一緒に探しけど・・・ありませんでした。

次の日、オーストラリアの小学校に行きました。学校につくと、いろんな人たちが、こっちを見て「Hello」か、手を合わせて、「こんにちは」と言って来ました。私はすごく楽しくなって、あいさつを返しました。

日本語で、「こんにちは」じゃなくて、ちょっと外国人ぽくなっていました。自然になっていたの、笑いが出て来ました。

そして、ホストファミリー(家族)の発表があった。その子は、女の子で、とてもおとなしそうな子でした。

その子と一緒にサンドイッチを食べました。その後、クラスに入って授業を受けました。

それから、その女の子(コーリー)の家に帰りました。そして家に帰ったら、みんな、優しく私を迎えてくれました。そして、それから5日間学校に、コー

研修の思い出

リーと一緒に行きました。クラスに友達もたくさん出来たし、日本人の友達も出来た。名前は、「あおや」と「まお」2人は、双子でした。学校では、授業でスポーツが多くて、とても楽しかったです。一番楽しいのは、ボールで遊ぶのや、旗のゲームなどです。後、ケーキを作ったり、サンドイッチを作ったり、「TIMTAM」というオーストラリアのクッキーも美味しかったです。あと、動物園に行ったのも、とても楽しかったです。羊の毛を刈っていたり、コアラやカンガルーに触ったりもしました。すごく可愛かったです。

それとお母さんの作る料理でおいしかったのは、鳥のステーキと、スパゲッティです。

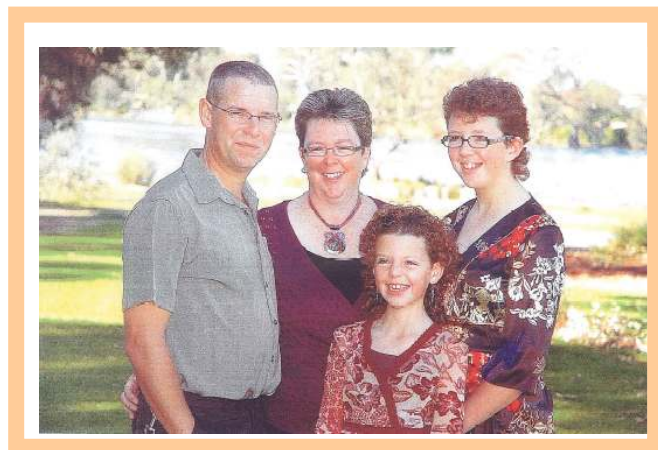
これは、サイコウ！！に美味しかったです。

最後の日、学校のみんなともお別れをしました。次の日は、コーリーの家族とお別れでした。悲しいのをぐっところえて、笑顔でコーリーとお別れをしました。このホームステイでは、とても短い間だったけど、とても良い体験が出来て、とても良かったです。

またいつか、学校の友達やコーリー家族に会いたいです。その時は、もっとたくさん英語を覚えて、そして話しをしたいです。



My room



My hostfamily



My friend

研修の思い出

S. T. 15歳

ホームステイ家族：D'cruze

お父さん：Raymord お母さん：Margaret

兄弟：Eric・Greg・Jessica



旅行の

よかったこと 英語を学べたこと	きつかったこと 飛行機での移動
--------------------	--------------------

食べ物

美味しかったもの フライドポテト	まずかったもの 小麦粉を水で薄めた ような物
---------------------	------------------------------

ベスト思い出トップ3！

1. キングスパーク。
2. 学校。
3. マクドナルド

ホームステイの感想

僕はこのホームステイで初めて外国にいきました。飛行機に乗ったことは一度しかなかったのが少し楽しみでした。

1日目は福岡空港からシンガポール空港まで行き、シンガポール空港からオーストラリア空港まで行きました。約16時間も飛行機に乗っていたので、とても大変でした。

パースに着いても、あまり実感がありませんでした。その日はホテルで寝ました。しかし明日のことが不安であまり寝れませんでした。

2日目はバスで学校まで行きました。学校に着くと、たくさんの生徒が迎えてくれました。そして、ホストファミリーに会う時が来ました。僕はとても不安でしたが、ホストファミリーは、とても優しく不安がだんだんなくなりました。英語が伝わらなかつたりしたときも紙を用意してくれたので、とても助かりました。

3日目からは、ホストファミリーと一緒に行きました。オーストラリアの学校は日本の学校と違って、授業中にリンゴを食べたり、友達と話をしていたりと自由でした。毎朝、学校で一番最初にランニングをするので、きつかったです。学校の生徒とサッカーをしたりするのは楽しかったです。

最初は不安だったホームステイも、ホストファミリーの優しさに助けられ不安がなくなっていました。オーストラリアの文化や習慣にふれることができ、ホストファミリーや学校の生徒とコミュニケーションをとることが出来ました。

研修の思い出

文化が違う所でホームステイをすることが難しいことです。しかし、悪いことばかりではなく、オーストラリアに友達ができたり、文化や習慣を学んだりすることもできます。

良い思い出がたくさん出来ました。このホームステイで学んだことを、これから生かしていきたいです。



研修の思い出

R. H. 13歳

ホームステイ家族：Beckham

お父さん： お母さん：Annette

兄弟：Tina-Marie ペット：Riiki



家族の写真

ベスト思い出トップ3！

旅行の

よかったこと

友達がたくさんできたこと

きつかったこと

飛行機の乗る時間
飛行機の待ち時間

食べ物

美味しかったもの

フライドポテト
バーベキュー

まずかったもの

機内食

1. 公園で遊んだこと。
2. 家の庭でペットと遊んだこと
3. 市内を散歩したこと

私が、お世話になったホストファミリーは、お母さんと、子供のテイナの2人家族でした。

最初は、うまく生活ができるかなと思ったけど、家族2人とも優しくかったです。

うれしかったことは、英語がほとんど出来ない私を心配してくれて、日本語が書いている本を見せて、言いたいことを指でさして会話をしてくれたことです。

それと、学校に着いたら学校の生徒たちが話しかけてくれたことです。そして、学校の友達もたくさん出来ました。

1日目の生活で、私はホストファミリーはあまりしゃべらなかつたけど、夕食の時になると、私たちはテレビのある部屋で夕食を食べながら、いろいろ日本の事などを話しました。そして、夜寝る時にテイナが「おやすみ」と言ってくれたので、とても嬉しかったです。

2日目の朝、学校に行くのがとても楽しみでした、そして学校に着くと生徒たちが、日本語で「こんにちは」と言って、話しかけてくれました。

学校が終わり、家に帰るとテイナのお母さんが「公園に行くよ」と言ったので公園に行ってたくさん遊びました。

3日目、夕食はテイナのおばあちゃんの家に行って、バーベキューをしました。お肉がかたくて、味があまりしなかつたけど、美味しかったです。

5日目、いつもどおりに学校に行きました。そして午後から全校でお別れパーティーをしました。歌もしっかり歌ってパーティーが終わると、私のホスト

研修の思い出

ナやクラスの生徒が泣いていました。私は、少しもらい泣きをしてしまいました。授業が終わり、帰る時間になると、テイナの友達が「バイバイ・レイナ」・「See・you・Reina」と言ってまた泣いていた子もいました。

夕食は、またテイナのおばあちゃんの家に行きました。その時に、テイナのクラスの友達が泊まりに来ていたので、一緒にショッピングをしてから、ごはんを食べました。

その日のごはんは、フライドフィッシュとフライドポテトでした。フライドフィッシュは口に合わなかったけど、フライドポテトはとても美味しかったです。

家に帰ってねる時、テイナが「今日は、特別にソファのベットでねるよ」と言いました。そして、テイナと私と友達、3人で寝ました。

最終日、学校でホストファミリーとお別れをして、バスに乗って出発すると、テイナたちが泣いていたので、少しお別れをしづらかったです。

日本に帰ってきて、自分で成長したなと思う事は、英語で言っているテレビがあって何を言っているかが少し分かるようになりました。

これから、学校などで学んだ事を生かしていけたらいいなと思っています。



コアラと私



テイナの友達と



テイナの祖母と中華

研修の思い出

K. M. 13歳

ホームステイ家族：Wood

お父さん：David お母さん：Pamela

兄弟：Courtney・Joshua



旅行の

よかったこと バディに出会えたこと	きつかったこと 朝のランニング
美味しかったもの お母さん (Pamela) の手料理	まずかったもの 機内食の前菜

食べ物

ベスト思い出トップ3！

1. クラスメイトや先生、ホストファミリーに出会えたこと。
2. Courtneyとおそろいのネックレスを買ったこと。
3. Caversham Wildlife Park 行ったこと

一生の思い出

8月3日、いよいよオーストラリアに行く日が来た。私は、ワクワクしながら飛行機に乗りました。約15時間の旅を経てようやくオーストラリア・パースに。

8月4日、ホストの通う Ballajura Primary School へ。学級委員に出迎えられる校舎の中の案内をしてもらった。日本と違うところは二階がないことや校舎がいくつもあることなどちょっとした発見をしながらウエルカムセレモニー。

そして、ホストファミリーと体面し休み時間を一緒に過ごして午後の授業へと。

午後は、外でゲームをして放課。家に着くと私は早速、日本のお土産を渡した。辞書などを使いながら説明しました。それからホストファミリーと公園にいった。後で知った事だけど有名な公園らしい。そこの小さな雑貨屋さんで David がポストカードを買ってくれた。少し緊張が解けた気がした。

8月5日、朝はとても冷えていた。それから登校。美術の時間みたくて白い石に絵を書くオーストラリア・アートをした。

青を主に塗って乾くまで美術室でマンガの人の絵を描いた。クラスの人を見て回ってちょっと付け加えをしたりした。教室にもどって石に魚や蛇を書いた。

昼食の時に日本のメンバーは美術室に集まって、学校の先生が準備してくれたオーストラリアの一般的なランチを作った。サンドウィッチにハムやベジマイトというソースみたいなものを塗って食べました。ベジマイトは少し苦手な味だった。デザートも用意してくれた。

研修の思い出

8月6日、午後からホストファミリーとカバシャム ワイルド ライフ パークにいった。

コアラに触ったり、カンガルーに餌やりをしたり、羊の毛を剃るショーを見たりできた。

とっても楽しかった。日本じゃあまり行かないからとてもワクワクした。

8月7日、クラスみんなに慣れたし、オーストラリアにも、慣れたって思えた。放課後、Courtneyの友達Tiffanyの家に遊びに行った。Tiffanyの家はとても広くて家にプールがあって、トランポリンもあった。驚いた。Tiffanyの家の周りを散歩して家に帰った。

8月8日、ついにこの日が来た。始めとは違って来てほしくない日だ。みんなとお別れなんてイヤだから。その日、私はたくさん泣いた。一日中泣いたと言っていい位泣いた。

8月9・10日、フリーマントルを見学して飛行機で日本へ。

この一週間は、私の中で一生の思い出になると思います。これから先、いつかまたオーストラリア・パースに行きたいです。そしてまた、ホストファミリーや学校みんなに会いたいです。



研修の思い出

T. M. 14歳

ホームステイ家族：Wilson

お父さん：Andrew お母さん：Leonie

兄弟：Kathryn・Thomas ペットちゃん：Bera



旅行の

よかったこと

ホームステイファミリー
がやさしかった

きつかったこと

飛行機での移動

食べ物

美味しかったもの

ホームステイ先の食事

まずかったもの

機内食

ベスト思い出トップ3！

1. ホストファミリーに英語が通じた
2. 学校での昼休み
3. ロッククライミングをしたこと

ホームステイを終えて

僕は、オーストラリアに行く前から、楽しみにしていました。なぜなら、パースが世界一きれいな街だと聞いていたからです。そして、オーストラリアに着き、ホテルで一泊し次の朝、バラジュラプライマリースクールに行きました。この小学校の生徒はとても元気で冬なのに半袖で、遊んでいて僕はすぐにみんなとなじめることができました。

学校ではみんなとサッカーをしたり、英語の授業を受けたりしてとても楽しかったです。

そして、ホストファミリーとの対面、お父さんもお母さんもとても優しい人だったので、安心しました。

そして、まずホストファミリーが連れて行ってくれたのが、キングスパークでした。とても広くてきれいな公園でした。しかし、その日にホームシックになり、家族をととても困らせてしまいました。でも、2日目からは、すぐになじんで自分から話せるようにもなりました。

そして、家族や親せき、友だちなどでロッククライミングをしました。初めてやったけど、けっこう難しかったです。でも、とても楽しかったです。

3日目は、動物園に行きました。コアラに触れたので良かったです。他には羊のショーやカンガルーのえさやりなど日本の動物園とは違った楽しみがあり、とても楽しかったです。その日の夜は港まで、連れて行ってくれました。

4日目は、とても大きいショッピングセンターに連れて行ってくれました。

研修の思い出

広くて、本当に迷うかと思いました。その日の夜、お母さんが作ってくれ夕食をたべました。オーストラリアのお米はパサパサしていて、犀川のお米のおいしさが分かりました。

最終日、学校のみんなでお別れパーティーをしました。みんなで感謝の気持ちをこめて、歌を歌いました。その日の夜、バーベキューをしました。とても美味しかったです。そして、家族とみんな北京オリンピックの開会式を見ました。

そして、お別れの日、僕はとても寂しかったです。別れるとき一週間ありがとうと言ってホストファミリーと別れました。

日本に帰って来て変わった事は、外国人に気軽にしゃべれるようになった気がします。

将来、また機会があれば、絶対に行きたいです。



学校での朝のランニングの様子



体育の授業でのリレー



ランチタイムみんなで集まって来ました

研修の思い出

W. M. 13歳
ホームステイ家族：Vidal
お父さん：Juan お母さん：Adriana
兄弟：Nicolos Selena



旅行の

よかったこと 学校がたのしかった	きつかったこと 朝のジョギング
美味しかったもの 最後の日に家族と 食べたもの	まずかったもの サラダ

食べ物

ベスト思い出トップ3！

1. カバシャム ワイルドライフパーク
でコアラにさわったこと
2. ホストファミリーとトランポリンで
あそんだこと
3. 学校でおかしを作ったこと

はじめての海外でのホームステイ

8月3日、ホームステイ事業の初日、福岡空港から飛行機に乗ってシンガポールまで行きました。飛行機からおりたら、とにかく広いから迷子になりそうでした。飛行機をおりた後、空港の中にあった電車みたいな乗り物に乗って移動してから、一時間ぐらい買い物をしてシンガポール空港から、オーストラリアの空港に行く飛行機に乗っていきました。

オーストラリアに着いたのは、深夜でした。空港でお金を換えてもらってホテルに行きました。部屋に入ってすぐに寝ました。

つぎの日、朝起きて朝ごはんを食べにいきました。朝ごはんは、バイキングだったから、いっぱい食べました。そして荷物を持ってホテルを出て、学校へ行きました。学校に着いたら少し授業をして昼になりました。昼ごはんをホストファミリーと一緒に食べました。

食べた後、ホストファミリーとサッカーをして遊びました。サッカーをしていたら、チャイムらしき音が聞こえたので、私はホストファミリーと別れてからクラスにもどりました。

学校がおわってホストファミリーがむかえに来てくれました。家に帰る途中は、ファミリーのニコラスとスレイナと手をつかって出来る遊びをしました。二人は、とても喜んでくれました。

家に着くと、シャッターが自動で開きました。その中に車をとめて、車をお

研修の思い出

りと、トランポリンがあったので、びっくりしました。

ちょっとやってみたいなと思ったときに、「やる」と聞かれたので、やらしてもらっていたら、ニコラスやスレイナも来てみんなで、とびはねて遊びました。

その時は、とても楽しかったです。もっと楽しかったのは、カバシャム ワイルド ライフ パークでカンガルーやコアラをさわったことです。カンガルーには、エサやりをしました。とても楽しかったです。

また、オーストラリアに行きたいなと思った。



学校の友達



家族と海に行った



寝ているコアラ

研修の思い出

E. Y. 14歳
 ホームステイ家族：Chin
 お父さん： お母さん： Hooi Koon
 兄弟： Marsha and Charmaine



旅行の

よかったこと 日本では、出来ない素晴らしい体験が出来たこと。	きつかったこと 日本と逆で寒かったこと
--	-------------------------------

ホストファミリーと海に行った。

ベスト思い出トップ3！

1. 最高のホストファミリーに出会えた。
2. 学校でたくさんの友達が出来た。
3. 海に連れて行ってくれたこと。

食べ物

美味しかったもの ホストファミリーのMotherがすしを作ってくれた。	まずかったもの 機内食
---	-----------------------

ホームステイを終えて

この8日間は、私にとって忘れるとこの出来ない最高の8日間になりました。私は、出発前も不安がほとんどなくて、楽しいことばかりを想像していました。そして実際オーストラリアで、ホームステイをしようと思っていた以上に、素晴らしい体験が出来ました。なぜ、こんなに楽しめたかということ、きっとホストファミリーや学校の友達がやさしくしてくれからだと思います。

私の、単語だけを並べた意味不明な英語を、一生懸命聞いてくれました。

食べ物は、正直言うと私の口にはあまり合いませんでした。野菜ばかりか、とても甘いおかし、まずい機内食が多かったからです。悪いなあと思ったけど、私が大きらいな紅茶が出された時は「No, thank you」と言いました。だけど、ホストファミリーのMotherは全然怒っていないようでした。ここでは、自分で意思表示をはっきりとすることも大切なんだなと思いました。

ほとんど、毎日、ショッピングに連れて行ってくれました。一番感動した場所は、海です。

日本の海とは比べものにならないほど、美しかったです。オーストラリアは、「海が多いよ。」と言っていました。次に感動したのは、キングスパークから見た景色です。City全体が見えるプラス、たくさんの木々の間から見えている夕日がキレイでした。キングスパークに行ったのは、日本に帰国する日の前日でした。そのころになると、あまりしゃべってくれなかった、MarshaやCharmaine、

研修の思い出

Oscar もいろいろと私としゃべってくれるようになっていました。

私は、さよならパーティーの時も、友達と別れる時も、家族と別れる時も全部泣いていました。たった5日間しか一緒にいなかったけど、その5日間は私にとって、今までで一番充実した5日間になりました。

私は、ホームステイをして以前よりも、もっともっと英語に興味をもてました。そして、もう一度 Perth に行きたいなと思いました。

私を、ホームステイに行かせてくれたみんなに感謝したいです。



クラスの友達と。



美しい木々



チャンギ空港はきれいで広かった。



みやこ町
ホームステイ事業
アンケート調査

— 研修生編 —

2008 企画調整課

今回のホームステイ研修に
ついておたずねします。



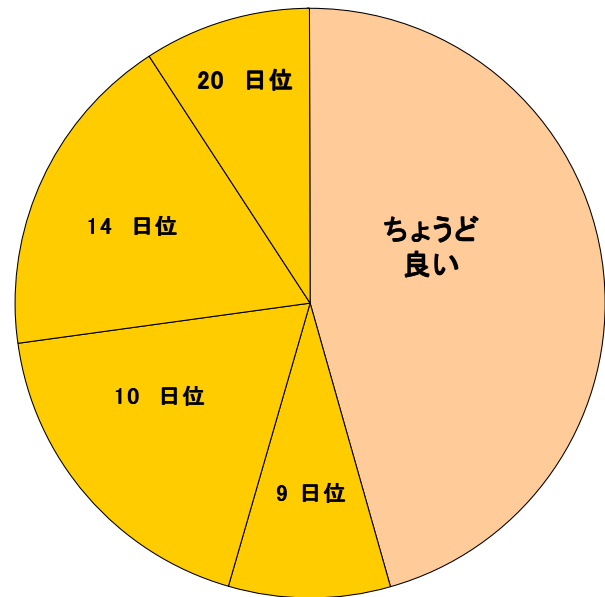
写真：フリーマントルの街並み

問1. 研修の日数について

① 長すぎた	0人	0.0%
② 短すぎた	6人	54.5%
③ ちょうど良い	5人	45.5%

○「②短すぎた」の内訳

9日くらいがよい	1人
10日くらいがよい	2人
14日くらいがよい	2人
20日くらいがよい	1人

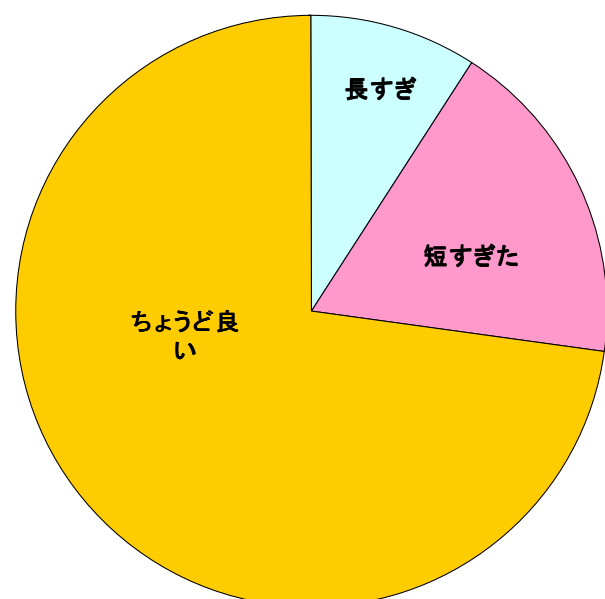


問2. 授業時間について

① 長すぎた	1人	9.1%
② 短すぎた	2人	18.2%
③ ちょうど良い	8人	72.7%

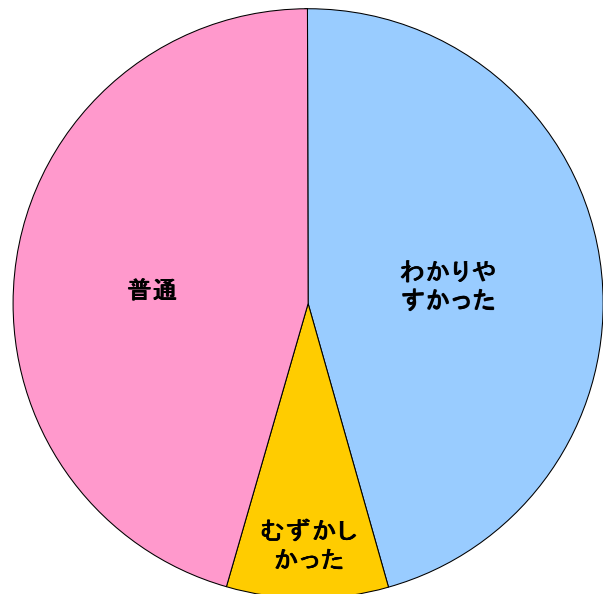
○「①長すぎた」の内訳

3時間くらいがよい	1人
-----------	----



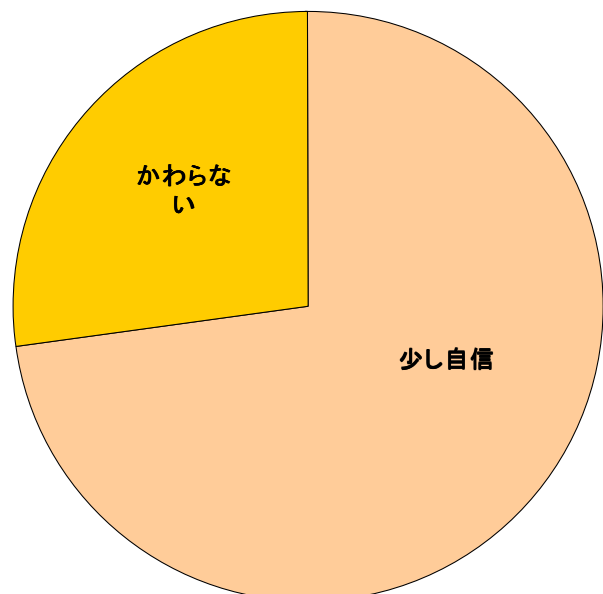
問3. 授業内容について

① わかりやすかった	5人	45.5%
② むずかしかった	1人	9.0%
③ 普通	5人	45.5%



問4. 授業を受けて英語(英会話)に

① かなり自信がついた	0人	0%
② 少し自信がついた	8人	72.7%
③ かわらない	3人	27.3%



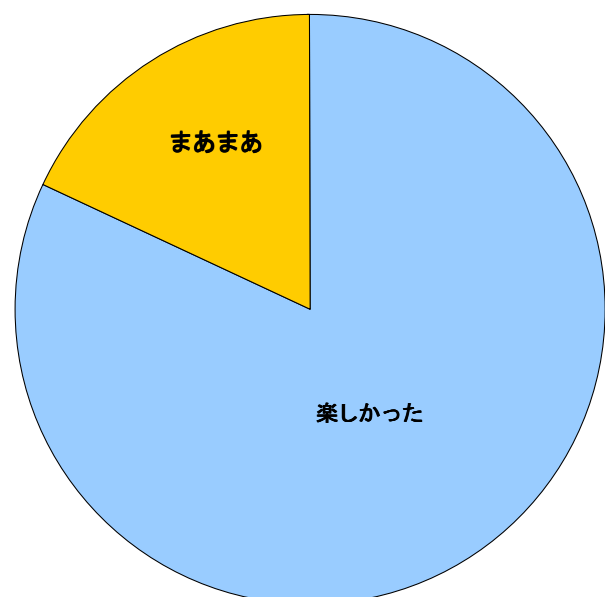
問5. 授業で一番思い出に残ったこと

- 日本・オーストラリアについて調べたこと
- 授業の内容が解ったとき
- 教室を移動する時「一緒にいこう」と言われた時
- オーストラリアについて色々勉強できたこと
- クラスのみんなが解りやすくジェスチャーなどで教えてくれたこと
- スポーツでたくさんの子供と力をあわせて楽しかったこと

……etc

問6. 午後のアクティビティ (市内散策)について

① 楽しかった	9人	81.8%
② 楽しくなかった	0人	0%
③ まあまあだった	2人	18.2%

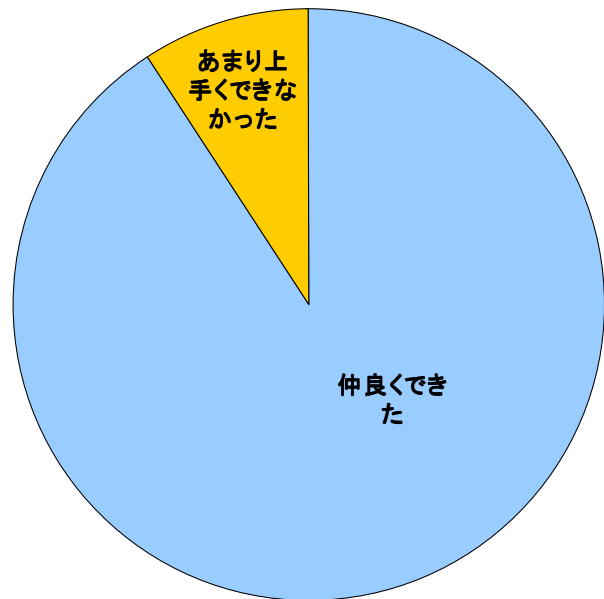


問7. ホストファミリーとの生活について

① 仲良く生活できた	10人	90.9%
② あまり上手く生活できなかった	1人	11.1%

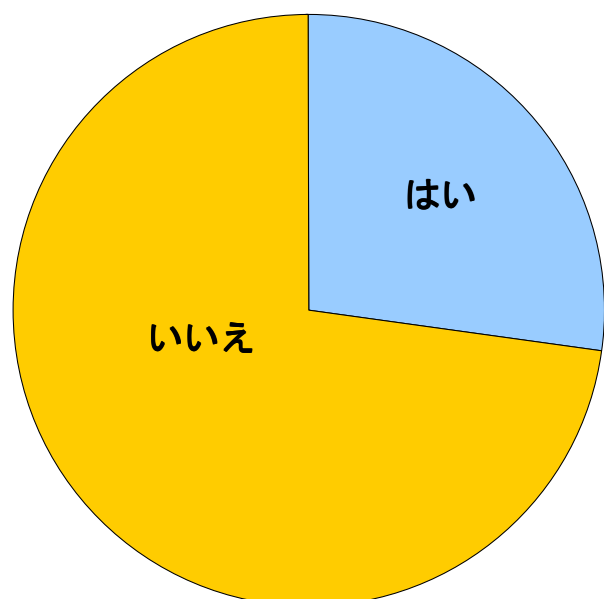
○②の理由

- 会話ができなかった。



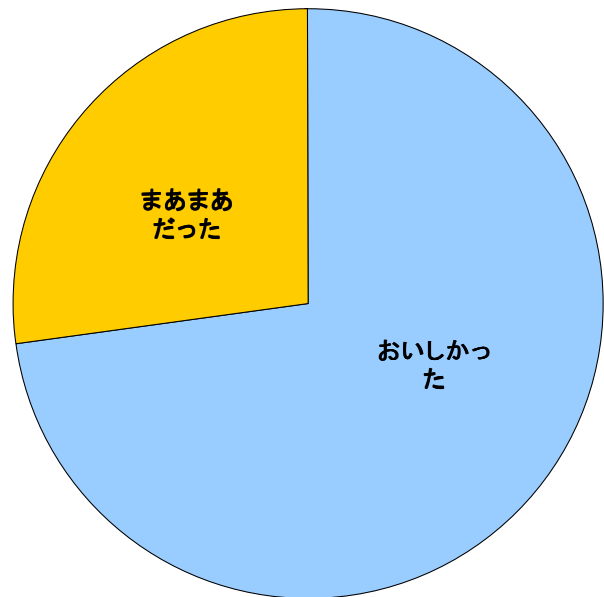
問8. ホームシックにかかりましたか

① はい	3人	27.3%
② いいえ	8人	72.7%



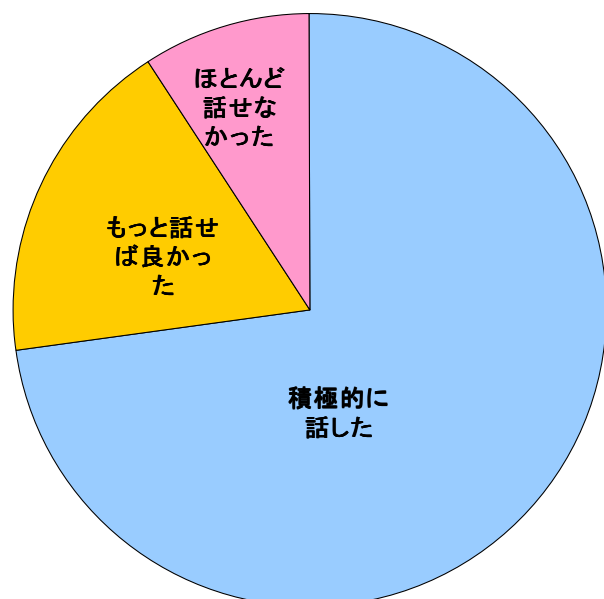
問9. ホームステイでの食事について

① おいしかった	8人	72.7%
② まあまあだった	3人	27.3%
③ 口に合わなかった	0人	0%



問10. ホストファミリーとの会話について

① 自分なりの英語力で積極的に話した	8人	72.7%
② もっと自分から話せば良かったと思う	2人	18.2%
③ ほとんど話せなかった	1人	9.1%



問11. ホストファミリーと何をして 過ごしましたか

- 折り紙
- 外食
- DVD鑑賞
- ゲーム
- ショッピング
- カードゲーム、双六
- バスケット
- 海に行った
- トランポリン
- 散歩

- サッカー
- 映画鑑賞
- トランプ
- 公園にいった
- アルバムを見せてもらった
- ファッション雑誌を読む
- いろいろな遊びをした
- ビーズアクセサリーを作った
- お絵かき

・・・etc

問12. ホストファミリーとの 一番の思い出は

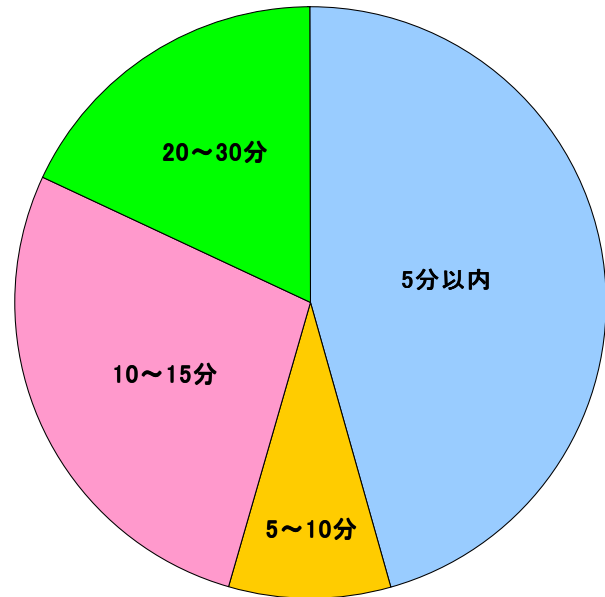
- カンガルーを見にいったこと
- 一緒にテレビを見たこと
- 家族でバーベキューをしたこと
- 海にいったこと
- 家でみんなでおしゃべりしたこと

- 海に見えるレストランで食事したこと
- キングパークに行ったこと
- お別れの日ビーチに行ったこと
- トランポリンで遊んだこと
(1.2.3で3で転ぶ遊び)

・・・etc

問13. ホスト先から学校までの 通学時間について

①	5分以内	5人	45.5%
②	5~10分	1人	9.1%
③	10~15分	3人	27.3%
④	15~20分	0人	0%
⑤	20~30分	2人	18.1%



問14. 日本とオーストラリアとの ちがいで気づいたところ

- 羊を食べていた
- 冬なのに半そで
- 食事の時間が不規則
- 信号が少なく、縦向き
- ゲップをよくする
- マンションが少ない
- 車のスピードが速い
- 交通ルールが難しい
- 道にゴミがあまり落ちてない
- 水が大切

- 男の人がやさしい
- 家は平屋で広い
- 子供がかわいい
- お風呂はシャワーですませる
- よくパーティーや外食をする
- 授業中フルーツを食べてよいこと

問15. 持っていけばよかったと思った物

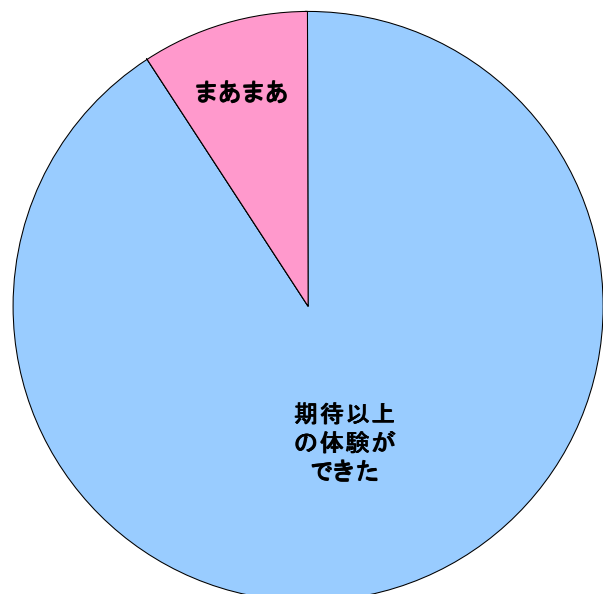
- 特になし
- 家族の写真
- トランプ
- 日本の貨幣
- 自分たちの写真
- お団子
- ゲーム(DS)



写真: パースの街並み

問16. この事業に参加しての感想

① 期待以上に良い体験ができた	10人	90.9%
② 期待していた程でもなかった	0人	0.0%
③ まあまあだった	1人	9.1%



みやこ町 ホームステイ事業 アンケート調査

—保護者編—

2008 企画調整課

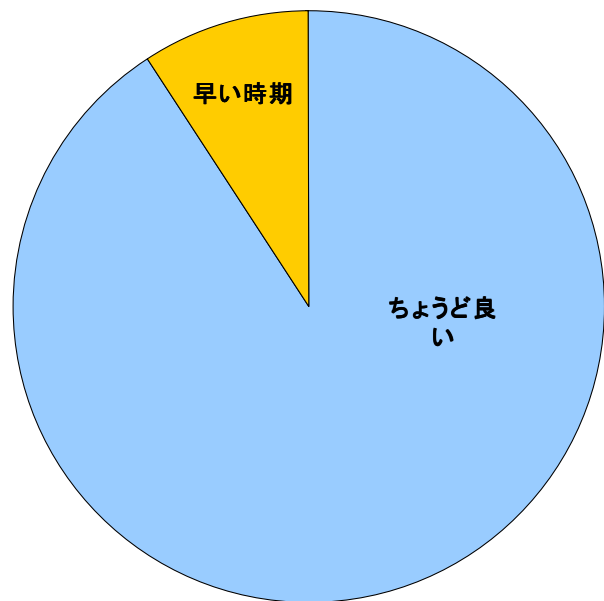
今回のホームステイ研修に
ついておたずねします。



写真：ウェルカムセレモニー

問1. 研修の実施時期について

① ちょうど良い	10人	92.9%
② 早い時期が良い	1人	7.1%
遅い時期が良い	0人	0.0%
無回答	0人	0.0%

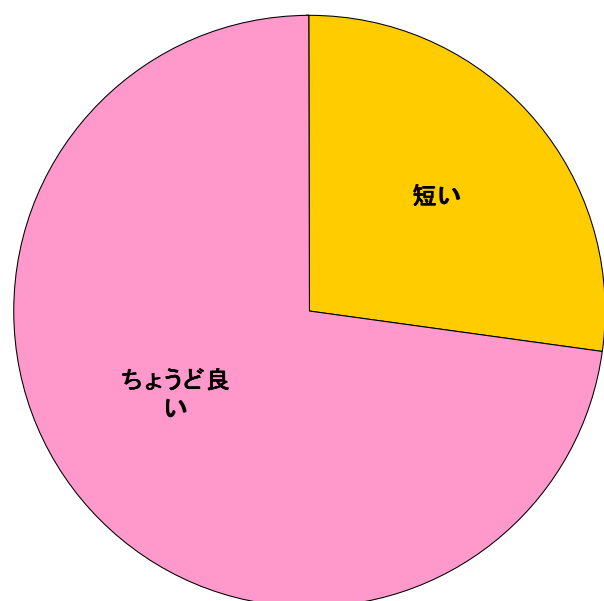


※コメント

出校日と重なる為

問2. 研修日数について

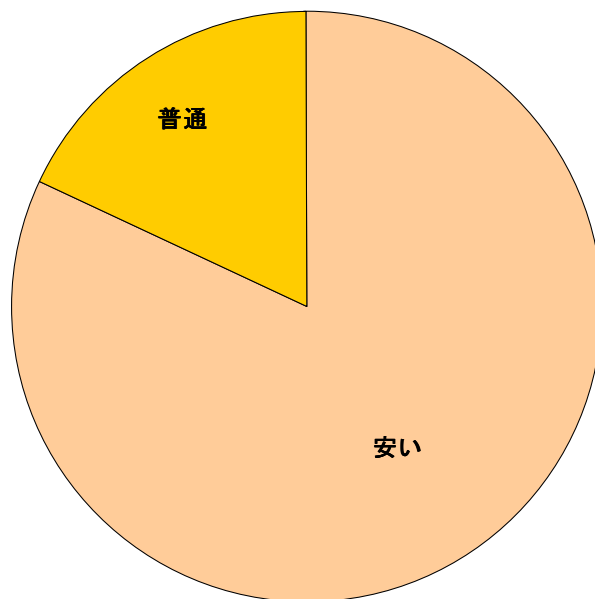
① 長い	0人	0.0%
② 短い	3人	27.3%
③ ちょうど良い	8人	72.7%



※コメント

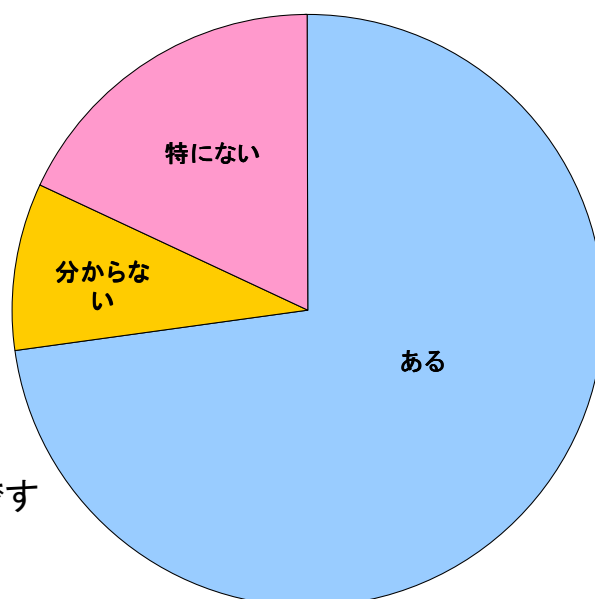
問3. 研修費用について

① 安い	9人	81.8%
② 高い	0人	0%
③ 普通	2人	18.2%



問4. 研修を終えてお子さんの生活態度の変化について

① ある	8人	72.7%
② 分からない	1人	9.1%
③ 特にない	2人	18.2%

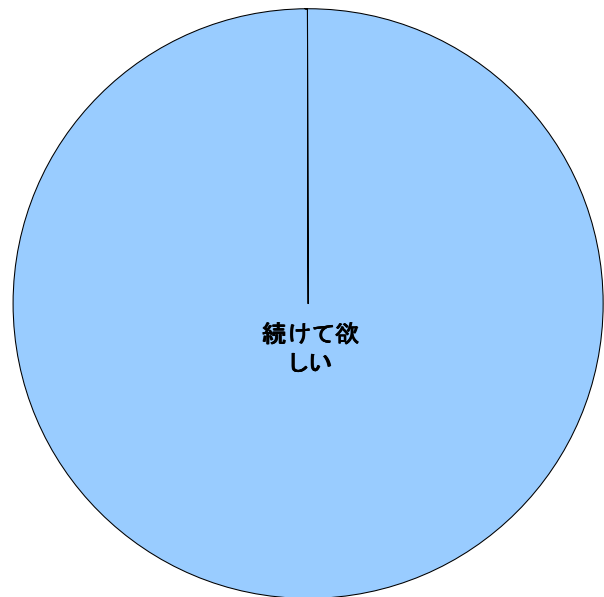


※コメント

- 少し積極的になった
- 英語に興味をもつようになった
- 外国に興味を持ち物の見方が変わったようです
- 自分の事は言われなくてもするようになった
- 何事にも自信が出て来たようです。
- 視野が広がった。色んなことに感謝する様になった

問5. ホームステイ事業について

① 継続して続けて欲しい	11人	100%
② あまり効果がないのでやめたほうが良い	0人	0.0%
③ よくわからない	0人	0.0%



問6. ホームステイ事業へのご意見・感想について①

- 全く知らない所に行って言葉も分からないのにあんなに楽しい顔をして帰国して子供にとっていい経験をしたと思います。これからも続けてほしいと思います。
- 宿泊日数は費用が多少増えてもあと2~3日あれば良いと感じました。
- とてもよい機会を作って頂きありがたく思います。貴重な経験ができとてもよかったですと思っています。是非、続けてほしいです。
- 事前研修等からホームステイ当日まで大変お世話になりました。うちの子は特に英語の教科が苦手です。少しでも好きになってくれればと思い参加させましたが成績にはなかなかあられわれないようですが本人の中には自信がついているようです。(英会話に対して) この事業はとても良いと思うのでいつまでも続けていってほしいと思います。
- 研修で色々な話を聞き不安だらけの気持ちでしたが送り出し、元気に喜んで帰ってきたので安心しました。ホームステイ先のファミリーにもよくして頂きうれしく思いました。又、現地に引率して頂き職員の方には大変お世話になりました。事前研修から大変だったと思います。子供たちの人生に今後も是非ホームステイ事業を続けて欲しいと思います。
- 外国の方と交流する機会を作ることはなかなか親ではしてあげられない事だと思うのでこのホームステイ事業はよい機会になったと思います。

問6. ホームステイ事業へのご意見・感想について②

- 役場の方には本当に親切に色々準備等有難うございました。町の人にこの事業の素晴らしさを一人でも多くの方に知ってもらいたいし機会があれば話したいと思います。ただ一つ困ったことは出発の3日前にホストファミリーの情報は遅すぎます。家族構成でお土産の内容・個数もかわります。もっと早く教えて頂きたいと思いました。移動時間があまりにも長くて少しかわいそうな気もしました。もう少し近くの国でもいいかも知れません。費用もすこし安くなるし。この事業はずっとつづけてほしいです。みやこ町の税金で体験させてもらい町民の方にも感謝いたします子供にも理解してもらいたいです。
- 5日間ステイ先の家族にとっても親切にして頂いた様で心から感謝しています。みやこ町でもパースの子供達を受け入れたら良いと思います。是非受け入れたいです。
- 大変お世話になりました。こういう機会を活かして外国の文化や風習を学べ有難く思っています。
- 2度程ですが我家にもホストファミリーとして受け入れた事があり、今回子供にとって知らない国、知らない人との共同生活を見ていた事もあり自分が逆の立場になってホストファミリーとして受け入れた経験がかなり役にたったと思います。元々英語に興味をもっており今回さらに興味をもってくれたと思います。有難うございました。

ご協力ありがとうございました。



写真:フリーマントルの街並みをバックに

終わりに

8月3日から8日間、親元を離れ、7千キロの彼方で言葉の壁を乗り越え、オーストラリアに行き生活してきました。研修生は、ホームステイや学校での交流を通して、普段では体験できない生活をし、身をもって英会話や国際交流に取り組んできました。

受け入れ先のホストファミリーやホストスクールでは、温かい歓迎を受け楽しく生活することができたようです。もちろんことばや、文化、生活の違いなどの壁は予想したよりも高かったと感じた研修生もいたようですが、心はそのような壁をはるかに乗り越えたようです。

研修生達は、わからないことだらけだったこと、失敗したこと、うれしかったことなどありますが、新たな可能性を見出したこと、また、日本でのごく当たり前の生活が、実は自分にとって、とても大切であったことなど、この貴重な経験の中で学ぶところも多かったと思います。日本でも、自ら主体的に、あるいは積極的に取り組む精神を忘れず、今後の生活に生かしてくれることを期待しています。

オーストラリアは、国土も広大で、人々もおおらかでゆったりとした感じがしました。しかし、オーストラリアでは自分のことには自分で責任を持たなければならないという風潮があります。また、道路の横断歩道では、歩行者用の青信号はものの数秒で赤になってしまいます。待たなしのきびしさもあります。

以上、簡単ですが、研修の報告とさせていただきます。

企画調整課 立花 博美

6月からの事前研修に始まり、2ヶ月以上にわたった今年度のホームステイ事業。オーストラリアでの本研修も終わってしまうとあっという間の8日間でした。言葉や文化の違いはもちろん、長時間の飛行機や空港での長い待ち時間など、精神的にも体力的にも本当に大変な体験だったと思います。

今年の事業で特に心に残ったことは、同年代の生徒同士を比較したとき、いい意味でも悪い意味でもオーストラリアの生徒が日本の生徒より進んでいたところ。うまく表現できませんが、自己が確立しているという感じでしょうか。反対に日本の生徒はとても素直で、いい意味で純粋で幼さが残っている気がしました。

今回の研修をきっかけに、研修生たちが日本人のアイデンティティーを忘れず、様々な文化や価値観に触れて、視野の広い、心の大きな人間になってくれることを願います。

最後に、研修生にチャンスを与えてくださった保護者の皆様、参加を希望した研修生のみなさん、また、本事業にご協力をいただいたすべての皆様に感謝いたします。

企画調整課 品川 鈴子